

## 「歯垢を落とすブラッシング」をテーマに

4月から続いていた健康診断がやっと終了し「ホッ」としたのも束の間、今度は検診結果の集計をする日々へと突入してしまいました。“言うは簡単、やるは難し…”確かに生徒全員の口の中を見て「すーと斜線4がC…」などなど、しゃべりっぱなしの学校医の先生もとても大変なのですが、数百人の生徒の現在歯、処置歯、う歯、歯肉の状態他諸々の記号を読みとり、全体の集計をする養護教諭も大変です。永久歯と乳歯が入り乱れていたりすると…。言葉もありません。「えっ？この子いったい歯が何本あるの？」といった状態です。

もちろんこの事ばかりをやっているならまだいいのですが、その間にも、やれ「擦りむいた」「腹がいたい」「気持ちわるい…」と子ども達は次々にやってきます。「もー、またわからなくなっちゃった…。数なんかもういいじゃない!!」と思う事もしばしばなのですが、やはりやった事の始末をしないワケにもいかず、今日もせっせと集計作業に精を出してきました。

### 歯垢がついている

そこで今年、妙に多かった我が校の検診結果の症状。

「1…、また1…。次も1…。えっ？すーと1？」

実はこれは歯垢の判定結果です。

平成7年度から児童生徒の健康問題の変化、医療技術の進歩、地域における保健医療の状況の変化等を踏まえて歯・口を含めた健康診断の内容・方法等が大きく改正されていて、その中の「歯周疾患の診断」

1. 歯垢の状態、歯肉の状態をそれぞれの欄に、3段階（0, 1, 2）に区分して記入すること。

歯垢の状態【付着状態についての診査】

0. ほとんど歯垢の付着なし
1. 若干の付着あり
2. 相当の付着がある。

を集計していた時の結果です。「この1の多さは何？」

そこで集計ついでに統計をとってみると全校のおよそ60%弱が1もしくは2でした。「…これはもしかして歯科検診だというのに、歯のブラッシングをして来ていないの？年に一度の検診で、前日にあれほど歯磨きをするように言ったのに…」この数字を見て一気に肩が落ちてしまったのですが、いや！でもこの考えは間違っていますね。“歯科検診があるから特別に朝、歯のブラッシングをしてきて欲しい”のではなく“生活習慣の中で、正しい歯のブラッシング法を身につける事”が学習課題なのだから、ここは、毎年歯科講話を行っているにもかかわらず、それを定着できなかった事を反省すべきなのでしょう。

平成7年の改定の際に出された課題でも、

まず、生涯にわたる健康増進のための歯・口の健康づくりのための基本的な生活習慣、例えば歯・口の清掃や望ましい間食の取り方などを身につけたり、自分で歯・口の健康課題を見つけ、課題解決を図ったりするなど児童生徒自らが積極的に歯・口の健康づくりに取り組めるような能力や態度を育成することが課題となります。

と書いてあります。

記 中学校養護教諭 菊池 由美子



# KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

## 5 2002年 月号



またまた新しい年度の始まりです。

先日、縁があって知り合いましたある外科のドクターの講演を聴きました。といっても医学の話しではありません。見えない医療とも言える「患者さまとの関わり方」についてのお話です。

日頃の診療の毎日の中で、どうしたら患者さまの心を少しでも理解できるだろうかと考える場面に遭遇しています。その度に自分たちの力のなさや至らなさを痛感してきました。

この講演では、「人のいろいろな社会、場面での心の持ち方」を聴かせていただき、はっとする思いを沢山手にしました。思い当たることばかりでした。

改めて、歯科医としての日々の研鑽は当然として、医療行為を通して心と感情を備えた人間と接していることを忘れてはならないのだと痛感した次第です。患者さまとよりよい関係を築くための、そのときの心の持ち方を教えてくれた講演会でした。

歯とは関係のない話ですが、当院を訪れてくださる患者さまと共に一緒に歩みたいと願う気持ちを新たにしたい一日でした。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888